



長良川9.12豪雨災害

長良川9.12豪雨災害 50年シンポジウム 今、災害の危機が訪れたら、どう動く？

50年前の1976年9月12日、台風17号の接近に伴う集中豪雨は、岐阜県南部を濁流が襲い、7万棟以上の家屋が半壊や浸水の被害に遭った岐阜県史上最悪の豪雨災害として記録されています。

あれから50年、県史に類を見ないこの水害を風化させず、未来への教訓とするため「今、災害の危機が訪れたら、どう動く」を自分事として考えるシンポジウムを行います。

2026年

9月12日(土)

時間 | 13:30～16:00 (開場/13:00)

会場 | じゅうろくプラザ 2Fホール (岐阜市文化産業交流センター)
JR岐阜駅スグ参加
無料

プログラム

13:30 | 開会挨拶
岐阜市長 柴橋 正直 氏 安八町長 岡田 立 氏

13:35 | プロローグ ～9.12災害を振り返る～
～災害の概要～ 木曽川上流河川事務所長 貴家 尚哉
～当時の体験談①～ 元岐阜市水防協会会長 戸本 敏夫 氏
～当時の体験談②～ 元安八町立結小学校校長 金森 透 氏

14:10 | 講演 名古屋大学名誉教授 辻本 哲郎 氏
水害は「自然現象」か、「社会現象」か
～9.12豪雨災害から考える、私たちの判断と選択～

14:45 | 防災教育の取り組み紹介 羽島市立桑原学園

15:10 | パネルディスカッション
今、9.12豪雨災害の危機が訪れたら、私たちはどう動く？
《登壇/パネリスト》
岐阜市長、大垣市長、羽島市長、安八町長、
報道機関、岐阜県、岐阜地方気象台、
木曽川上流河川事務所長
《コーディネーター》
名古屋大学名誉教授 辻本 哲郎 氏

定員 / 400名 (先着順・事前申込み)

申込方法

専用申込みフォーム(二次元コード)から申込みできます。
また、電話・FAXでも申込み受付けております。
応募締切/2026年8月31日(月)



右記二次元コードから
お申込みください。



058-264-1158
岐阜新聞社営業局「9.12シンポジウム係」



058-265-1632
氏名・年齢・住所・連絡先・参加人数を明記の上、
「9.12シンポジウム係」まで送信してください。

【問】(委託先)岐阜新聞社営業局「9.12シンポジウム係」
TEL058-264-1158(平日9:00～17:00)

関連イベント

リレーパネル展

長良川沿川の各市町でパネル展を開催します。
詳細は、随時WEBページで更新します。



木曽川上流
河川事務所HP

関連イベント

9.12(土) 同日開催



長良川9.12豪雨災害

体験しながら災害・防災について学ぼう!

災害現場で働くクルマ展

場所／信長ゆめ広場(JR岐阜駅前)

時間／10:00～14:00 ※小雨決行

災害対策本部車



災害対策本部車や排水ポンプ車が災害現場でどのような活躍をするのか見てみよう!



見よう!

排水ポンプ車



乗ろう!

川の安全を見回るパトロールカーに乗ってみよう!



河川パトロールカー

国土交通省の制服を着て照明車を操作しよう!



知ろう!

照明車



ご来場いただいた方は災害対策車両のペーパークラフトがもらえるよ!

無くなり次第終了します



ペーパークラフトイメージ

※荒天の際は、中止させていただく場合がございます。

中止の際は、木曽川上流河川事務所ホームページに掲載させていただきます。
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/>